

★学校教育目標 ○		★重点計画の概要	
★目指す学校像（ビジョン）		学びの変革プロジェクト	
【目指す児童・生徒像】 基本的な生活習慣を身に付け、健康に生活しようとする生徒、挨拶ができ、思いやりをもって皆と感動し、		学びに向かう力・人間性等についての指導・評価の一層の充実を図るとともに、非認知能力の測定を行い、人間性の向上を図る。 定期考査を単元毎のテストに改め、三つの学力のバランスの取れた育成を図るとともに、指導目標・評価	
【目指す学校像】 屈託のない笑顔の見える学校			
【目指す教師像】 生徒の良本となる教員			

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標	評価点	
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	体力向上	運動する機会を増加させ、生徒の体を育てる力の育成を図る。	・部活動の充実や運動する機会の増加を図り、生徒の積極的な運動への取組みを推進し、体を育てる力の向上を図る。	4 3 2 1	体を育てる取組みや部活動によく取り組んだ教員が85%以上 職員89.6% (+10.30) 教員が80%以上 体を育てる取組みや部活動によく取り組んだ教員が75%以上 体を育てる取組みや部活動によく取り組んだ教員が75%未満	1 2 3 4	・活発的に部活動に取り組み、成果もあげていると思う。部活動指導員、外部指導員は今後も増えていけば、教職員の勤務時間軽減にもなると思う。 ・家訓同部の活動は、各大会でも成果を上げ、必要に応じ外部指導員を入れており、充実していると感じた。 ・晴れの日は外で過ごし機会を増やし、五感を生かすと勉強に対して集中力、学力UPにつながるという結果報告を聞いたことがあります。 ・部活動を通して得られる協調性などは、生徒の将来の社会生活に役立つと考えます。非常に良い取組です。 ・取組姿勢は高評価です。生徒の体力向上を体力テストの結果等から効果検証できるとよいと思います。
	学びの変革	校内研究による授業改善の推進を図る。	・定期考査を単元毎のテストに改め、その都度、教員面接を行い指導目標や評価方法を明確にして指導力向上を図る。 ・授業改善推進拠点校として、指導と評価の一体化による授業改善を組織的に推進する取組を研究し、教員の授業力向上を図る。	4 3 2 1	研修等を通して、授業力が高まり、分かりやすい授業が行えた教員が90%以上 研修等を通して、授業力が高まり、分かりやすい授業が行えた教員が85%以上 職員85.8% (+3.7) 分かりやすい授業が行えた教員が80%以上 研修等を通して、授業力が高まり、分かりやすい授業が行えた教員が80%未満	3 2 1 4	・定期考査を単元テストにしたことで、子ども達にとっては、テストの回数が増え、机に向かう機会が多くなり、休まる暇がないと思うものと思いますが、自分の苦手なところもわかり、勉強しやすくなったのではないかと思います。この方法の方がやはり成績が上がってくるのではないかと思います。 ・単元テストに移行してからの成果と、問題点、生徒の感想を教えてください。 ・今年度より単元テストに改めましたが、学力の定着が図られているかどうか評価が必要だと考える。 ・テストの形態が今年から変わったとのことなので、いろいろな意見があると思いますが、今後の時代に合わせ、継続できる様に対策を考えていきたい。 ・教員が積極的に研究活動に参加し、授業内容や指導力向上を図ることは、生徒に対する指導が効果的になると考えます。今後も期待しております。 ・授業の内容がよくなることで回答している生徒の割合が高いことはたいへん好ましいですが、注目すべきは「よく分かる」と回答できない生徒への対応でしょう。
みんなの多様な学びとをあわせる	豊かな人間性の育成	・生徒が協力して取り組み、感動する行事を実施し、所属感・連帯感を高める。	・運動会・合唱コンクール等の行事を、生徒が主体的に協力して感動するよう充実し、所属感・連帯感を高める。	4 3 2 1	運動会・合唱コン等の行事で生徒の所属感・連帯感を高めた教員が85%以上 職員100% (+20.7) の所属感・連帯感を高めた教員が80%以上 運動会・合唱コン等の行事で生徒の所属感・連帯感を高めた教員が75%以上 運動会・合唱コン等の行事で生徒の所属感・連帯感を高めた教員が75%未満	3 2 1 4	・先生、子ども、保護者と高評価点。とても素晴らしいですね。子ども達が学校に行って得られる一番（？）大事なところだと思います。ぜひ次回は都合をつけて伺いたいと思います。 ・各行事は、学校全体で生徒たちがリーダーを中心に、主体的に行動している姿が感じられ、とてもいい印象。 ・運動会を見させていただきましたが、生徒が自主的に動き、全体や学年・クラスの連帯感が見て取れました。 ・学校行事を生徒主体で取り組んでいる姿は生徒がとても輝いていたと感じました。合唱コンクールでは先生方もお忙しい中、迫力のある合唱を子供たちに届け、心にとめて響いたと感じました。 ・この短期経営目標は、非常に重要だと思います。生徒同士の結びつきを強化し、また教員との信頼関係を構築する良い機会になります。非常に有意義であると思います。 ・各行事は、生徒が人として成長する好機です。すべての生徒が活躍できる場をもてるよう、なお一層の充実を図っていただきたいと思います。
	豊かな人間性の育成	非認知能力（人間性）の測定を行い、人間性を高める。	・学期ごとに非認知能力（人間性）の測定を行い、振り返ることで自らの学習を調整するとともに、指導力の向上を図り、人間性の向上を図る。 ・人間性を高める重点行動を決めて、行動する。	4 0 2 1	人間性の向上を図ることができた教員が90%以上 人間性の向上を図ることができた教員が85%以上 人間性の向上を図ることができた教員が80%以上 職員82.1% 人間性の向上を図ることができた教員が80%未満	3 2 1 4	・数値化できない非認知能力の測定とは、どのような方法で行うのが知りたい。人間性を高めるとは、今までの生い立ちも関係してくるので難しい面もあると思うが、3年間での変化に興味がある。 ・日認知能力の測定を数字で表すことができるのか？本人の意見尊重の大切さを感じます。 ・生徒の将来を考えると、学業成績だけでなく協調性や忍耐力など、社会生活において、重要な役割を果たすことになると思います。個別に指導するときも生徒の強みや課題を把握する面でも支援がやりやすいと思います。 ・非認知能力の測定法は、Big Five やMMPI 他いろいろな方法があるようですが、本校においてはどのような方法で行っているのですか？ また、その測定結果を生徒にどのような形で伝えているのですか？
社会と未来に開き、みんなが未来をつくる	豊かな人間性の育成	地域の方との協働活動・関わりの活性化を図る。	・職業調べや報告会などにおいて、地域の方との意見交換を行い、望ましい社会性や勤労観・職業観を育む。 ・保護者と教員の交流の推進を行うとともに、ボランティア活動を推進し地域の一員としての誇りをもたせる。	4 3 2 1	保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が85%以上 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が80%以上 職員82.7% (+7.7) 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が75%以上 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が75%未満	4 3 2 1	・普段の学校のカリキュラムで取り組むには時間的にも限度があると思います。夏休み等の時間に余裕のある時にボランティア活動等に積極的に参加し、地域に根ざしてもらいたいです。 ・職業体験後の事業者との懇談会は、地域で働く方々を身近に感じing機会となり、よいと思う。 ・保護司会の社明運動の一環である日野駅街頭での広報活動では、中学生の立場で、犯罪防止の呼びかけをしていただき、ありがとうございました。 ・地域の方々への連絡等、先生方の仕事量が増えると思いますが、子供たちが自分たちの地域で活躍できるのは、人間性につながっていくと思います。 ・私たち自治会もこの目標については大変重要と感じています。生徒の社会経験を豊かにすることで、興味関心を引き出し、新しい知識を取得することができます。また、地域との連携を強化することで、地域全体の発展につながると思います。 ・地域社会との関りを充実させていることは、たいへんよいと思います。
	豊かな人間性の育成	地域の方との協働活動・関わりの活性化を図る。	・学校危機管理マニュアルを精査するとともに、避難訓練を工夫して、自分のことを守る力を育成する。また、地域の方と連携した防災訓練を企画し、地域の方を助ける力を育成する。	4 3 2 1	避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が90%以上 職員93.1% (+10.3) 避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が85%以上 避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が80%以上 避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が80%未満	3 2 1 4	・校内避難訓練はできていると思うが、自治会などと協力して、地域防災を少しずつでも実施し、自助・共助の意識を高めてほしい。 ・いつとんかことが起きるかわからない今、地域とのつながりを大切にお互いを思いやる心を保護者も一緒に育てていけたらと思います。 ・日野一中は多摩川に近く、自然災害などで緊急事態がいつ発生するか不安になります。生徒や教員の安全を確保するため不可欠な取組です。大変有意義であると考えます。 ・多くの自治体が学校を防災拠点にしている昨今、本校において防災教育をさらに推進してください。
安全・安心	安全・安心の推進	不登校傾向等のある生徒等に対し、個に応じた支援を充実する。	・特別支援教育コーディネーターを中心に学校相談委員会を毎週開催し、教室に入れない生徒等に対して登校支援教室やほっとルームを充実させる。 ・ステップ教室・リソース教室を活用した別室学習支援や保健室・スクールカウンセラーの相談などの個別指導を充実させる。 ・わかば教室、エール及びスクールソーシャルワーカーなどと連携し、支援体制を充実させる。	4 3 2 1	個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が95%以上 個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が90%以上 職員93.1% (+9.8) 個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が85%以上 個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が85%未満	2 3 2 1	・多くの支援の方法があることがわかりました。また各々の評価点が上がっていて成果が出ているようですね。困っている子どもが一人でも信頼できる方を増やし、なりたいたい自分を見つけ、向かってくだらいいですね。 ・不登校の背景には個々様々なものがあるので、支援も難しいと思うが、子どもの気持ちに寄り添えたらいいと思う。 ・登校支援教室をはじめ、SCやSSWなど様々なソースを活用して不登校支援を行っており、個々に応じた支援が充実しているのではと思う。 ・先日道德地区公開講座でもありましたが、私たち大人の前提がとても大切だと思いました。関わる大人の在り方がとても大事で、話せる場を設けるような関わりができるといいですね。時間のやりくりが難しい問題はあります。 ・現在実施しておられる包括的な支援体制に感謝いたします。一人一人を丁寧に状況把握し、個別支援計画を立てることは大変ですが重要です。今後も不登校傾向のある生徒が再び学校生活に戻って、成長することができるよう支援していただきます。 ・不登校は今や社会問題となっています。残念ながら0になることはないでしょう。効果が上がった点の好事を取り、地道に取り組んでいきたいと思います。
	安全・安心の推進	いじめの防止・早期発見・早期解決を図る。	・学校いじめ対策委員会を中心に、いじめの防止・早期発見・早期解決を図るとともに、生徒自らが、いじめを絶対に許さない環境を醸成する活動を推進する。	4 3 2 1	「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じている教員が95%以上 職員100% (+10.4) 「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じている教員が90%以上 「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じている教員が85%以上 「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じている教員が85%未満	3 2 1 4	・先生方はきつとご尽力されていると思いますが、把握がとても難しいところですね。先生方と子ども・保護者の評価点にギャップがあるということは、やはり、子どもが声をあげづらかったり、保護者の方はお子さんから何かお聞きになっているこの評価なのかもしれません。保護者の方に具体的な内容を確認してみたいのではないかと思います。 ・校内でのいじめは、地域からはわかりにくい。早期発見・解決のために校内での取組を重視してほしい。 ・いじめはいつの時代にもなくなるものなので、具体的方策にあるとおり、絶対に許さない環境を醸成するよう推進してください。 ・出来事が起きる前に、きっとお子様たちの中で感じていることがあると思います。 ・生徒が安心して学校生活を送るために重要な目標だと考えます。日常的なコミュニケーションを重視することが重要です。今後も「学校いじめ対策委員会」を中心に包括的な活動を通して、いじめのない健全な学校生活を実現していくことを期待いたします。 ・職員の高評価が100%というのは素晴らしいと思います。教員の皆さんが個々の人権感覚を日々磨いていらっしゃる証でしょう。

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。